

# 第 3 次西宮市環境基本計画


## 用語解説



# 用語解説

用語	意味
＜あ行＞	
アスベスト	天然にできた鉱物繊維で、熱に強く、摩擦に強く切れにくい、酸やアルカリにも強いなど、丈夫で変化しにくいという特性を持っている。石綿は、吸い込んで肺の中に入ると組織に刺さり、15～40年の潜伏期間を経て、肺がん、悪性中皮腫（悪性の腫瘍）などの病気を引き起こす恐れがある。
ESG投資	企業の業績だけに注目するのではなく、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）への取り組みといった非財務情報を評価して行う投資のこと。
一酸化炭素（CO）	炭素または炭素化合物が不完全燃焼した際に発生する物質で、主な発生源は自動車からの排気ガス。高濃度になると、頭痛やめまいだけでなく、意識障害、呼吸停止を引き起こす場合もある。
一般廃棄物	産業廃棄物以外の廃棄物のことをいう。一般廃棄物は「ごみ」と「生活排水」に分類される。また「ごみ」は、一般家庭の日常生活に伴って生じる「生活系ごみ」と、商店、オフィス、レストラン等の事業活動によって生じる「事業系ごみ」に分類される。
エコドライブ	省エネルギー、二酸化炭素や大気汚染物質の排出削減のための運転技術をさす概念。主な内容は、アイドリングストップを励行し、経済速度の遵守、急発進や急加速、急ブレーキを控えること、適正なタイヤ空気圧の点検などがあげられる。
エシカル消費	地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことをいう。一人ひとりが、社会的な課題に気づき、日々の消費を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみるのが、エシカル消費の第一歩となる。
オオキンケイギク	北米原産の多年草で、5月～7月に黄色のコスモスに似た花を咲かせる。強靱でよく生育することから、かつては法面緑化に使用されたり、苗として販売されたりしていたが、在来の野草の生育場所を奪い、周囲の環境への影響が大きいため、2006年から外来生物法の特定外来生物に指定され、運搬や、栽培、譲渡などが原則として禁止された。
温室効果ガス	地球温暖化に影響を及ぼすガスのことをいう。「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の7物質が温室効果ガスとして排出削減対象となっている。
＜か行＞	
外来生物	人間による意図的または非意図的な活動によって、本来持つ移動能力を超えて、他の地域に持ち込まれ、野外に生息、生育している生物のことをいう。
化学的酸素要求量（COD）	COD（Chemical Oxygen Demand）ともいう。水中の有機汚濁物質を酸化剤で分解する際に、消費される酸化剤の量を酸素量に換算したものの。値が大きいほど水質汚濁は著しい。
カーボンニュートラル	「ゼロカーボン」を参照

用語	意味
環境基準	環境基本法で「大気汚染、水質汚濁、土壌汚染及び騒音にかかる環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」と規定しており、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音について定められている。
環境保全型農業	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業のことをいう。
「企業の森づくり」制度	企業が、社会貢献活動の一環やSDGsの目標達成、社員の福利厚生を目的として、森林所有者に代わって森林を保全・整備する制度。
気候変動	気温及び気象パターンの長期的な変化のこと。近年は、主に人間活動が気候変動の大きな要因となっている。
気候変動適応計画	気候変動に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために、気候変動適応法に基づき平成30(2018)年11月に閣議決定された。令和3(2021)年10月には気候変動適応法第8条に基づき変更され、閣議決定されている。本計画は、計画期間を今後おおむね5年間とし、気候変動の影響による被害を防止・軽減するため、各主体の基本的役割や、あらゆる関連施策に気候変動適応を組み込むことなど、7つの基本戦略を示すとともに、分野ごとの適応に関する取り組みを網羅的に示している。令和5(2023)年5月の一部変更により、熱中症対策の取り組み強化(熱中症対策実行計画等)が盛り込まれた。
グリーンインフラ	森林、農地、海岸などの自然が持つ多様な機能(水質浄化、保水等)を活用した道路・港湾・上下水道などのインフラ整備をとおり、生物多様性を保ちつつ、防災・減災等の効果も得る仕組みのこと。
光化学オキシダント(Ox)	工場・事業場や自動車から排出される窒素酸化物(NOx)や揮発性有機化合物(VOC)などが太陽からの強い紫外線を受けて光化学反応を起こすことにより生成されるオゾンなどの総称のことをいう。
ごみ減量等推進員	市長が2年の任期で委嘱し、一般廃棄物の減量及び適正な処理並びに清潔で快適な生活環境の確保に向け、地域活動を推進するリーダーのことをいう。
<さ行>	
最終処分場	最終処分を行う施設であり、ガラスくず等の安定型産業廃棄物のみを埋め立てることができる「安定型最終処分場」、有害な産業廃棄物を埋め立てるための「遮断型最終処分場」、安定型への処分にも遮断型への処分にも該当しない産業廃棄物を埋め立てる「管理型最終処分場」及び一般廃棄物最終処分場(「管理型最終処分場」と同様の構造)に分類される。
再生可能エネルギー	太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのことをいう。
産業廃棄物	廃棄物処理法第2条4項で規定される、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチックなど政令で定める20種類の廃棄物のことをいう。
事業系ごみ	廃棄物のうち、事業活動に伴って生じた廃棄物のことをいう。
次世代自動車	窒素酸化物(NOx)や粒子状物質(PM)等の大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車のことをいう。

用語	意味
持続可能な社会	健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら持続的に発展することができる公正で平和な社会のことをいう。
循環型社会	製品等が廃棄物等となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進され、及び循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会をいう。
循環経済 (サーキュラーエコノミー)	従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニアな経済（線形経済）に代わる、製品と資源の価値を可能な限り長く保持・維持し、廃棄物の発生を最小化した経済を指す。
食品ロス	食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいう。
ステークホルダー	組織やプロジェクトなどの活動に対して直接的あるいは間接的に影響を受けたり、影響を及ぼしたりする全ての個人や団体のことで、利害関係者を指す。
ストックホルム人間環境宣言	1972年国連人間環境会議で採択された共通見解7項の前文と共通の信念26原則から成る宣言。国際会議で初めての環境保全に関する取り組みであり、人間環境の保全と向上に関し、世界の人々を励まし、導くため共通の見解と原則が示されている。
生活系ごみ	一般廃棄物のうち、家庭生活の中から発生するごみのことをいう。
生態系	食物連鎖などの生物間の相互関係と、生物とそれをとりまく無機的環境（水、大気、光など）の間の相互関係を総合的にとらえた生物社会のまとまりのことを示す概念。生態系には、広大な森林から小さな池まで様々な大きさのものがあ、地球全体を一つの生態系と考えることもできる。
生態系サービス	人間のくらしは食料や水の供給、気候の安定など、生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵みによって支えられており、これらの恵みを「生態系サービス」と呼ぶ。
生態系ネットワーク	生物が生息・生育する様々な空間が繋がるネットワークのこと。
生物化学的酸素要求量 (BOD)	BOD (Biochemical Oxygen Demand) ともいう。汚水中に存在する有機物などの汚濁物質が、微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要とされる酸素量のことをいう。数値が大きいほど、その水が汚れていることを意味する。
ZEH	<p>「Net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略称。</p> <p>高断熱・省エネ・創エネによって、太陽光発電などで創るエネルギーを収入、冷暖房や照明のような家で使うエネルギーを支出と見立てて、年間エネルギー消費量の収支をゼロにすることを旨とした住宅のこと。戸建住宅だけでなく、マンションやアパートなどの集合住宅のタイプもある。</p>  <p>出典：「快適・安心なすまい なるほど省エネ住宅」（一般社団法人 住宅生産団体連合会）</p>

用語	意味
ZEB	<p>「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、消費量を正味（ネット）でゼロにすることができる。</p> <div data-bbox="901 241 1404 627" data-label="Image"> </div> <p>出典：ZEB PORTAL（ゼブ・ポータル）（環境省）</p>
ゼロカーボン	<p>二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味する。「脱炭素」、「カーボンニュートラル」、「ネットゼロ」とも呼ばれている。</p> <div data-bbox="957 728 1420 907" data-label="Diagram"> </div> <p>出典：脱炭素ポータル（環境省）</p>
<た行>	
ダイオキシン類	<p>塩素を含む有機化合物の一種で、ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシンとポリ塩化ジベンゾフラン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称であり、化学物質の合成過程、焼却過程などで非意図的に生成され、内臓障害や発がん性などの健康被害が知られている。</p>
脱炭素社会	<p>「ゼロカーボン」を参照</p>
窒素酸化物	<p>化石燃料などを燃やすことによって発生し、主に一酸化窒素(NO)、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)として大気中に存在する。工場や自動車からの排気ガスなどが主な発生源だが、家庭の暖房など発生源は広範囲にわたる。一酸化窒素に比べ二酸化窒素のほうが毒性は強く、高濃度で呼吸器系に影響を及ぼすほか、酸性雨や光化学オキシダントの原因物質となる。</p> <p>なお、窒素酸化物のうち二酸化窒素には環境基準が設定されている。</p>
電気の排出係数	<p>電気事業者が一定の電力を作り出す際にどれだけの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出したかを表す指標で、「実二酸化炭素排出量 ÷ 販売電力量」で算出される。</p>
電動車	<p>電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車の4種の自動車を指し、バッテリーに蓄えられた電気を動力の全て又は一部として使用し、走行する自動車をいう。</p>

用語	意味
特定外来生物	<p>外来生物のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼす恐れがあるものの中から外来生物法に基づき指定された生物（生きているものに限られ、卵、趣旨、再生可能な器官も含まれる）をいう。特定外来生物に指定された生物は、①輸入、②飼養や運搬、③野外に放つことが原則として禁止される。</p> <p>なお、2023年4月1日に施行された改正外来生物法では、特定外来生物の種類ごとの特性を踏まえ、一律に飼養や譲渡し等を規制するのではなく、輸入、放出、販売又は頒布を目的とした飼養及び譲渡し等を主に規制することが可能な仕組みとなった。アカミミガメとアメリカザリガニは、2023年6月1日から一般家庭等での飼養等や少数の相手への無償での譲渡し等については許可無しで行うことができる条件付特定外来生物に指定された。</p>
<な行>	
二酸化硫黄	石油、石炭、重油などに含有される硫黄分が燃焼して発生する物質。四日市ぜんそくなどの公害病の原因物質であり、高濃度で呼吸器系に影響を及ぼすほか、酸性雨の原因物質でもある。
二酸化窒素	「窒素酸化物」を参照
ネイチャーポジティブ (自然再興)	生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを意味する。
<は行>	
ヒートアイランド	都市部において、人口物の増加、コンクリートやアスファルト面の増加、冷暖房などの人口排熱の増加により、都心部の気温が郊外に比べて高くなる現象のこと。
富栄養化	湖沼や内湾が水中に窒素、りん等の栄養塩が多い状態に遷移すること。藻類の異常繁殖により、アオコ、赤潮等の原因となる。湖沼や東京湾等の内湾で生活排水等の人為的な原因で急速に進行していることが問題になっている。
フードドライブ	家庭で余っている食料品を学校や職場、イベント等に持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに寄付する活動のこと。
浮遊粒子状物質 (SPM)	粉じん、ばいじんのうち 10 マイクロメートル以下の物質で、発生原因は、自然的なものとしては、風による舞い上がりなど、また、石炭、石油などの燃料の燃焼物の破壊などがあげられ、大気中に比較的長時間滞留する。呼吸器系への影響が大きく、せき、痰をひきおこし、特に粒径の小さいものは肺胞などに沈着する。
ベオグラード憲章	1975年に開催されたベオグラード会議で作成された憲章。環境の状況、環境の目標、環境教育の目標、環境教育の目的、対象、環境教育プログラムの指針となる原則の6構成よりなり、環境教育のフレームワークとなっている。
PCB 廃棄物	不燃性で科学的にも安定であり、熱安定性にも優れた物質で、絶縁油、熱媒体等広い用途に使用されていたが、現在は製造・輸入ともに禁止されている。 脂肪に溶けやすいという性質から、慢性的な摂取により体内に徐々に蓄積し、様々な症状を引き起こすことが報告されている。

用 語	意 味
<ら行>	
リサイクルプラザ	西宮市におけるリサイクルを推進するために設置された粗大ごみ展示・活用施設。西宮市西部総合処理センター内にあり、ごみとせずに再度使ってもらうため、粗大ごみの中からまだ使えそうな家具などを展示し、市民の方で欲しい人がいれば持ち帰ることができる。
リターナブルびん	使用済みのびんを返却、詰め替えをすることによって、何度も使用できるびんのことをいう。 店舗等から回収されたリターナブルびんは、きれいに洗浄され、再び中身を詰めて商品化される。
レッドリスト	日本の絶滅のおそれのある野生生物種のリスト。日本に生息又は生育する野生生物について、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価し、絶滅のおそれのある種を選定してリストにまとめたものをいう。